



生活支援体制整備事業

# お互いさま ひろお通信

「地域づくりから育つひろおの支え合い」

第5号 2019年7月

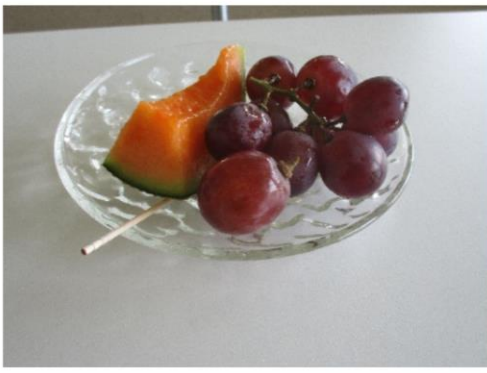
## ハッピーシニアの会

〜繋がりが育てる幸福〜

最初に取材のお願いをしに行ったとき「人数が少ないから・・・」と話していました。しかし、『人数が少ない』と言いなながらも、活動はすでに4年目に突入しています。その名は**ハッピーシニアの会**。今回はその魅力に迫りました。

この会は地域に老人クラブのように集まれる場所が欲しいという声を受け、平成28年4月に丸山3丁目集会所で活動を開始しました。開催は毎月25日1時から行っています。会では特別なことは行いません。お菓子を囲んで会話を楽しんでいます。ついにながら、今回はメロンとブドウが出てきました。

「〇〇さん今日来ていないけどどうしたの？」という発言に対し、「〇〇さん病院だよ」という会話が聞こえてきました。本人達は意識していないと思いますが、**自然な見守り**が



## ハッピーシニアの会に育っていた実(意味)



うまれていました。更に、仲間内だけでは終わらせません。「〇〇さんこの会に誘ったら入らないかな？」と言ったように地域のことを気にしている様子が伺えました。

会で大事にしていることを伺うと「**地域の繋がりを、月1回顔を合わせて元氣だねと言えること**」との事。『地域の繋がりを』その言葉が示すように「自分は話すのは得意ではないんだけど・・・」と話しながらも会の初期から参加している男性。また、ある男性は「家に居てもすることは無い。人の顔が見たいから参加する」と話しており、この会が**地域内で人と繋がれる場所**、まさに居場所になっているのだと感じました。

代表の西内氏は「**家にこもっている人が外に出てきて、みんなでおしゃべりをし、笑顔になれたら嬉しい**」と話されています。

ハッピーシニアの会は幸福老人の会とも呼ぶ。この会に参加することで繋がりが生まれ、その繋がりが幸せを運んでくる。幸せが集まることによって会には幸福が育っていました。これからも幸福を育んでほしいと思います。